経 営 方 針 説 明

代表取締役社長 CEO　阿多 親市

「大きな成長」に向けたSBTの歩み

主な事業：EC、IT商材の販売・構築

1990 ソフトバンク技研設立

1997～1999

2004 東証二部上場

2006 東証一部上場

ビジネスユニットを統合
ソフトバンク・テクノロジーに商号変更

ECサービス
ソフトバンク技研

システムインテグレーション
ソフトバンク 情報システム部

プラットフォームソリューション
ソフトバンクネットワークセンター

ビジネス変革の土台作り

2012 2013 2014 2015

～大きな仕事を受けられる企業へ～
積極採用 ＆ 技術力強化を推進

～独自技術の保有による優位性を確立～
注力3事業の設定、M＆Aの推進

～プロジェクト管理体制の強化～
生産性・品質向上のため資格取得とPJ管理体制を強化

クラウド成長期

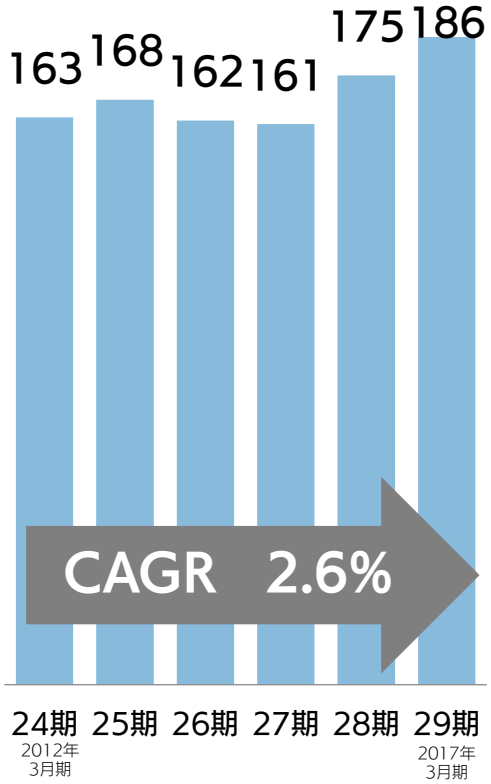
2016～

さらなる成長に向けて

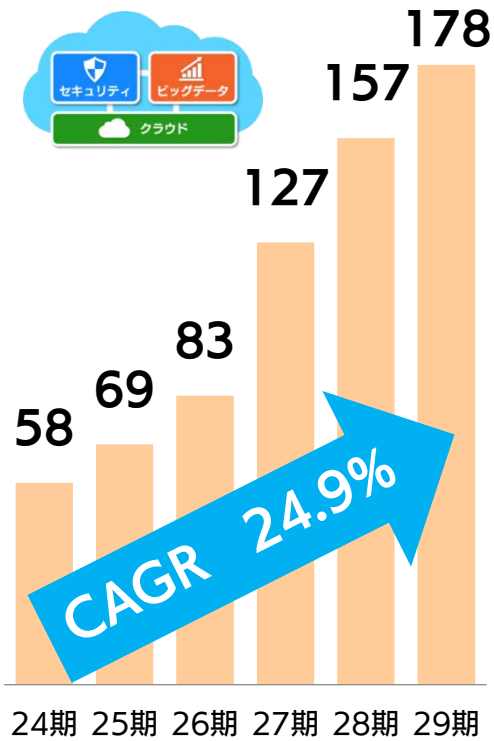
1. クラウドへの集約
2. IoTビジネスの開発
3. 経営基盤の強化

連結 顧客別売上高の成長推移

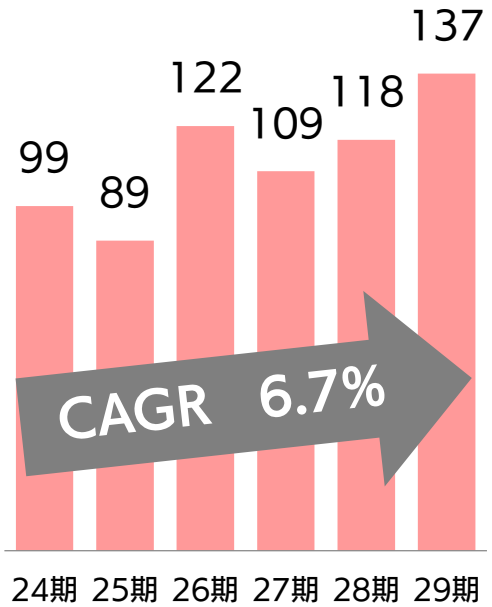
個人向け



法人・官公庁



SBグループ



(億円)

我々の目指す姿

エンタープライズ企業・官公庁を対象とした国内有数の

Cloud&IoT サービス提供グループ

基本戦略

事業会社 として

高収益な
ビジネスモデルに
進化

技術の会社 として

IoTセキュリティ
対策から
データ活用まで提供

B2B企業 として

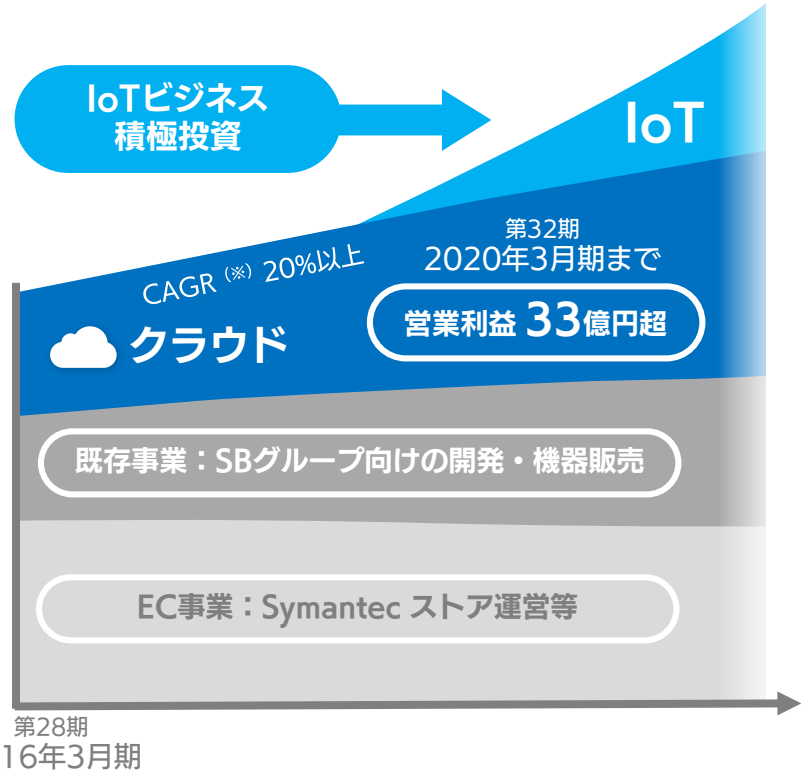
顧客ビジネスの
成長に
不可欠な存在へ

ビジョン実現に向けた
3つの基本戦略

- クラウドへの集約
- IoTビジネスの開発
- 経営基盤強化

事業成長イメージ

売上高構成比率の変化



※クラウド、セキュリティ、データアナリティクスの3事業合計売上高の年平均成長率

クラウドへの集約

- メール等から顧客管理や商用システムにシフト
- クラウド運用とセキュリティ運用の提案強化
- 開発中心からビジネス企画やPJ管理を中心にシフト

IoTビジネスの開発

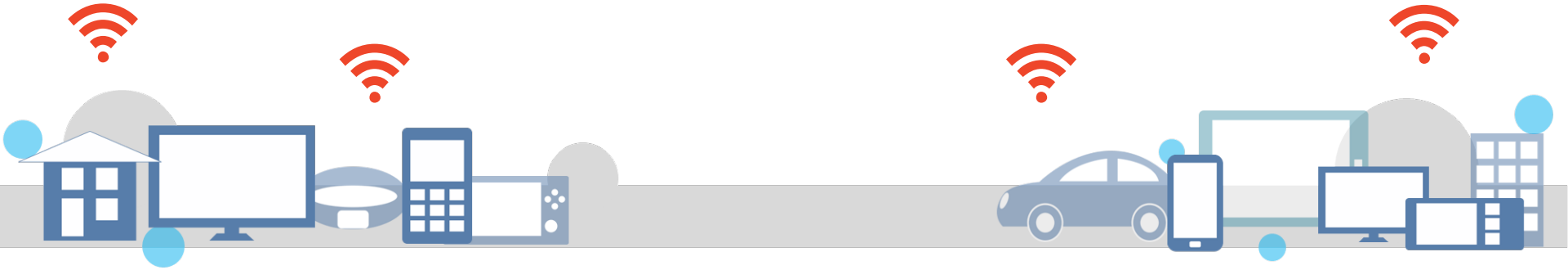
- 先端技術の教育、実証実験などに積極投資
- 子会社群でIoTデバイスへの価値創出を推進
- SBTはデータ活用や AIによる価値創出を推進

経営基盤の強化

- PMP取得の継続、ノウハウ共有の強化
- 開発パートナーとのリレーションシップ強化
- 人材確保と定着、生産性向上のため働き方改革を推進

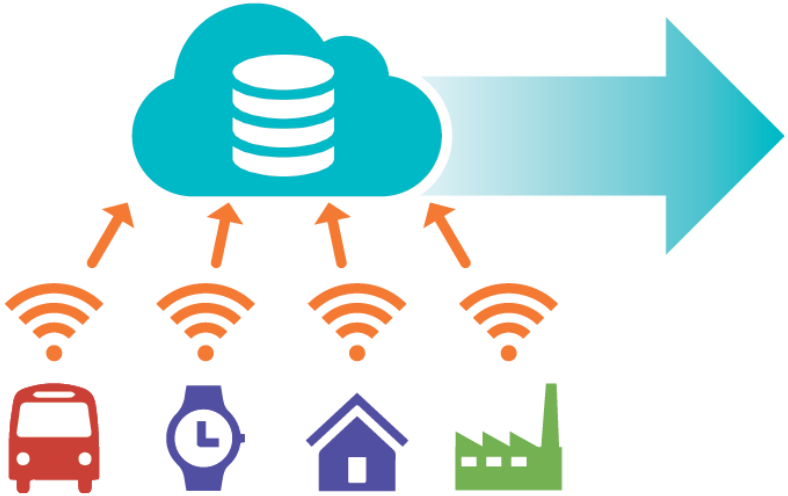
投資分野のIoTとは？

Internet of Things（モノのインターネット）



日々の暮らしやビジネスが大きく変わる技術革新

収集した膨大なデータを分析・活用



より便利な生活へ

家庭で
- 冷蔵庫やエアコンが、自動で温度を調節
- 腕時計が、適切な運動量をアドバイス
- ビデオカメラが、留守中の侵入者を検知

街で
- 自動車が、渋滞を迂回できる道を案内
- 市バスが、運行状況をリアルタイムで案内
- ビル空調が、自動制御で無駄を削減

仕事で
- 田畑のセンサーが、農作物の発育状況を管理
- 建設現場のセンサーが、作業員の安全を確保
- 工場の生産ラインが、機材の故障時期を予測

対処すべき課題

- ソフトバンクグループ各社との連携
- 顧客関係性の維持・向上
- 注力事業の拡大
- 新たな事業基盤の立ち上げ
- 強固な収益基盤の確立
- 働き方改革の推進

ソフトバンクグループ各社との連携

グループ各社の業務環境を支え、共にお客様に提案

- 社内・商用システムの開発、運用
- セキュリティ運用やデータ解析の支援

SoftBank Technology → ソフトバンクグループ各社（国内）

SBグループ連携ソリューション →

法人・官公庁

顧客関係性の維持・向上

ビジネスパートナーを目指し、上流対応に向けた教育、運用効率化を継続

	企画提案	要件定義	開発（設計＋開発＋テスト）	運用サービス
29期 2017年3月期	実証実験	PMP取得	外部パートナー強化	システム化、AI実装
28期	IoT & クラウド中心の提案	PM	顧客関係性を上流へ	NOC + SOC
27期		プロジェクト管理（PM）	請負開発	NOC セキュリティ運用（SOC）の立て付け
26期		PM育成注力	請負型へシフト	クラウド運用（NOC）の立て付け
25期 2013年3月期			委任型中心	

企画提案から運用までをプロジェクトマネジメント可能に

注力事業の拡大

企業システムのクラウド化を推進、**顧客のビジネス成長に貢献**

戦略領域

ビッグデータ AI

- 可視化、効率化
- 予測検知

セキュリティ

- マネージドセキュリティ
  クラウド環境のセキュリティ運用監視
- Things 向けセキュリティ
  専用OSとセキュリティ機能の実装・提供

クラウド

- Microsoft Azure
  クラウド導入・移行、開発、運用

従来

- ECビジネス
- SBグループ向け開発、機器販売

新たな事業基盤の立ち上げ（1/2）

SBTグループによる一気通貫のサービス提供

メーカー・プラットフォームからのアプローチ

業種/顧客の課題・ニーズからのアプローチ

新たな事業基盤の立ち上げ（2/2）

「サービス×デバイス数」でスケール可能なモデル

cybertrust

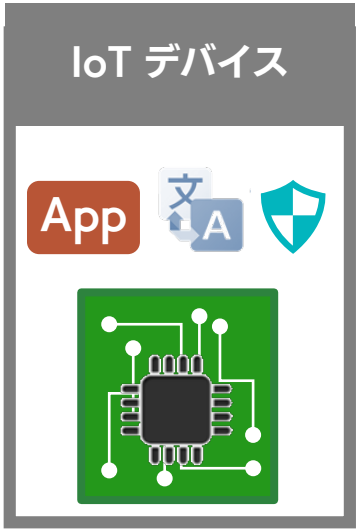
MIRACLE

Fontworks

実用性
- 専用デバイスアプリ

セキュリティ
- OSへの対策、認証
- ソフトのセキュア更新

表現力 多言語
- 専用デバイスフォント
- マルチリンガル



× デバイス数

強固な収益基盤の確立　／　働き方改革の推進

収益基盤の確立

- プロジェクト利益最大化
- 業績動向・リソース見える化
- ノウハウ共有・機能シェア

働き方改革

- 人事制度改革の推進
- 業務改革による高生産性の追求
- 自社サービスの率先利用

SBTの社会的な取り組み

農業への貢献

全国農地ナビの複数年運用を受注

国の成長戦略
主要施策の1つ

「攻めの農業」に向け、農地集積・集約化を加速

⇒ 全国すべての農業委員会に台帳/地図作成・公開を義務化

一般向け

- 農地情報を全国一元化
- 農地台帳情報の電子化
- 地図システムとの連携

alis-ac 全国農地ナビ
Agricultural Land Information System Agricultural Committee

全国農業委員会向け

- 公開システムを整備するための
  クラウドシステム環境構築
- 構築したシステムに
  各農業会議所のデータを移行

今期以降は過去構築システムの複数年運用
＋個別構築/対応

注力事業を
融合して対応中

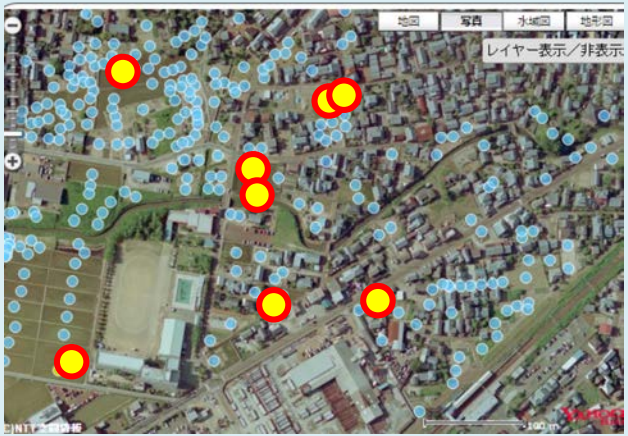
構築 → 運用

構築 → 運用 → データ移行

「攻めの農業、強い農業づくり」をクラウドで支援

全国農地ナビ

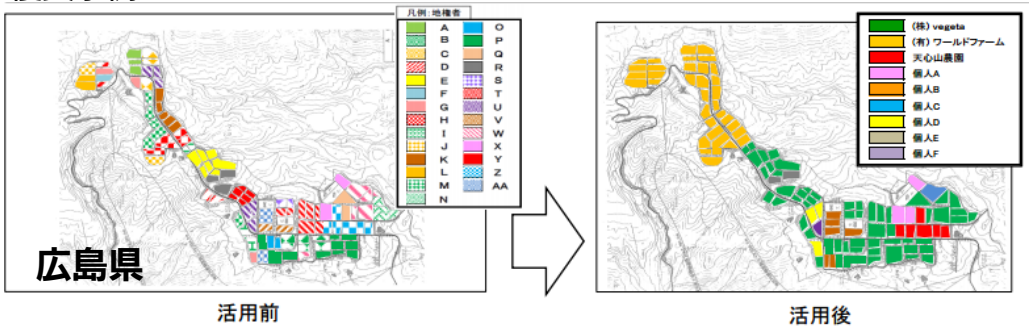
ウェブ上に
農地情報を公開



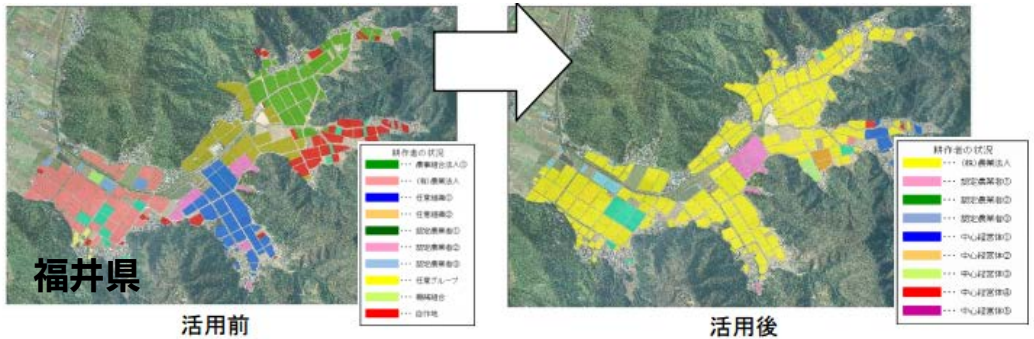
出典：全国農地ナビ<https://www.alis-ac.jp/>

ナビを活用した農地集約が進行中

優良事例



活用前　　活用後

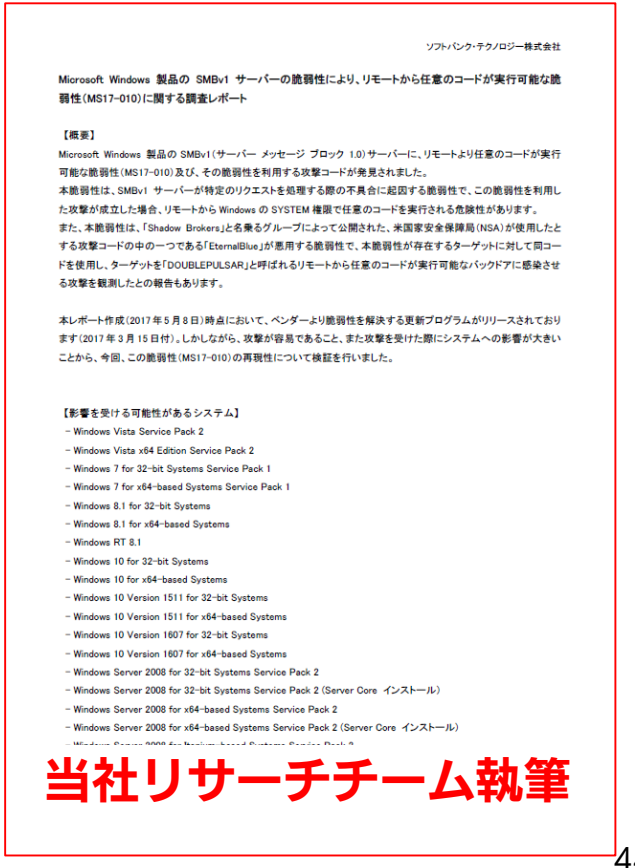


活用前　　活用後

出典：農林水産省< http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/ >
平成27年度の農地中間管理事業の優良事例集より一部画像を抜粋

安全・安心への貢献

ランサムウェア等への対策啓蒙（セキュリティ対策の弱点に関する解説）



ソフトバンク・テクノロジー株式会社

Microsoft Windows 製品の SMBv1 サーバーの脆弱性により、リモートから任意のコードが実行可能な脆弱性(MS17-010)に関する調査レポート

【概要】

Microsoft Windows 製品の SMBv1(サーバー メッセージ ブロック 1.0)サーバーに、リモートより任意のコードが実行可能な脆弱性(MS17-010)及び、その脆弱性を利用する攻撃コードが発見されました。
本脆弱性は、SMBv1 サーバーが特定のリクエストを処理する際の不具合に起因する脆弱性で、この脆弱性を利用した攻撃が成立した場合、リモートから Windows の SYSTEM 権限で任意のコードを実行される危険性があります。
また、本脆弱性は、「Shadow Brokers」と名乗るグループによって公開された、米国家安全保障局(NSA)が使用したとする攻撃コードの中の一つである「EternalBlue」が悪用する脆弱性で、本脆弱性が存在するターゲットに対して同コードを使用し、ターゲットを「DOUBLEPULSAR」と呼ばれるリモートから任意のコードが実行可能なバックドアに感染させる攻撃を観測したとの報告もあります。

本レポート作成(2017年5月8日)時点において、ベンダーより脆弱性を解決する更新プログラムがリリースされております(2017年3月15日付)。しかしながら、攻撃が容易であること、また攻撃を受けた際にシステムへの影響が大きいことから、今回、この脆弱性(MS17-010)の再現性について検証を行いました。

【影響を受ける可能性があるシステム】

- Windows Vista Service Pack 2
- Windows Vista x64 Edition Service Pack 2
- Windows 7 for 32-bit Systems Service Pack 1
- Windows 7 for x64-based Systems Service Pack 1
- Windows 8.1 for 32-bit Systems
- Windows 8.1 for x64-based Systems
- Windows RT 8.1
- Windows 10 for 32-bit Systems
- Windows 10 for x64-based Systems
- Windows 10 Version 1511 for 32-bit Systems
- Windows 10 Version 1511 for x64-based Systems
- Windows 10 Version 1607 for 32-bit Systems
- Windows 10 Version 1607 for x64-based Systems
- Windows Server 2008 for 32-bit Systems Service Pack 2
- Windows Server 2008 for 32-bit Systems Service Pack 2 (Server Core インストール)
- Windows Server 2008 for x64-based Systems Service Pack 2
- Windows Server 2008 for x64-based Systems Service Pack 2 (Server Core インストール)

当社リサーチチーム執筆

引用　IPAホームページ：https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20170514-ransomware.html
IPAは、経済産業省所管の政策実施機関として2004年に発足した独立行政法人

自治体情報セキュリティクラウド

自治体情報セキュリティ強化対策事業として**4県の対応を推進中**

FY16 (28期)　**FY17** (29期) **以降**　構築システムの複数年運用

構築 → 運用

SBTの提供価値

NOC ネットワークを管理・運営

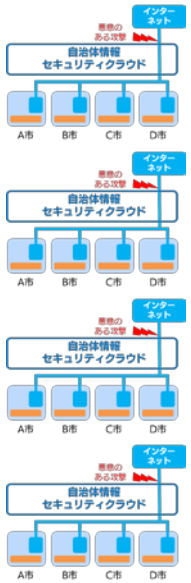
MSS セキュリティ監視サービス

SOC サイバー攻撃検出・通知

SIEM
資格者

セキュリティログを高度技術者のノウハウで解析。
運用監視サービスとしてSBTが独自提供

県別の要件に合わせ、自治体情報セキュリティクラウドを構築
→ NOC / SOCのサービスノウハウを各県に展開



岩手県

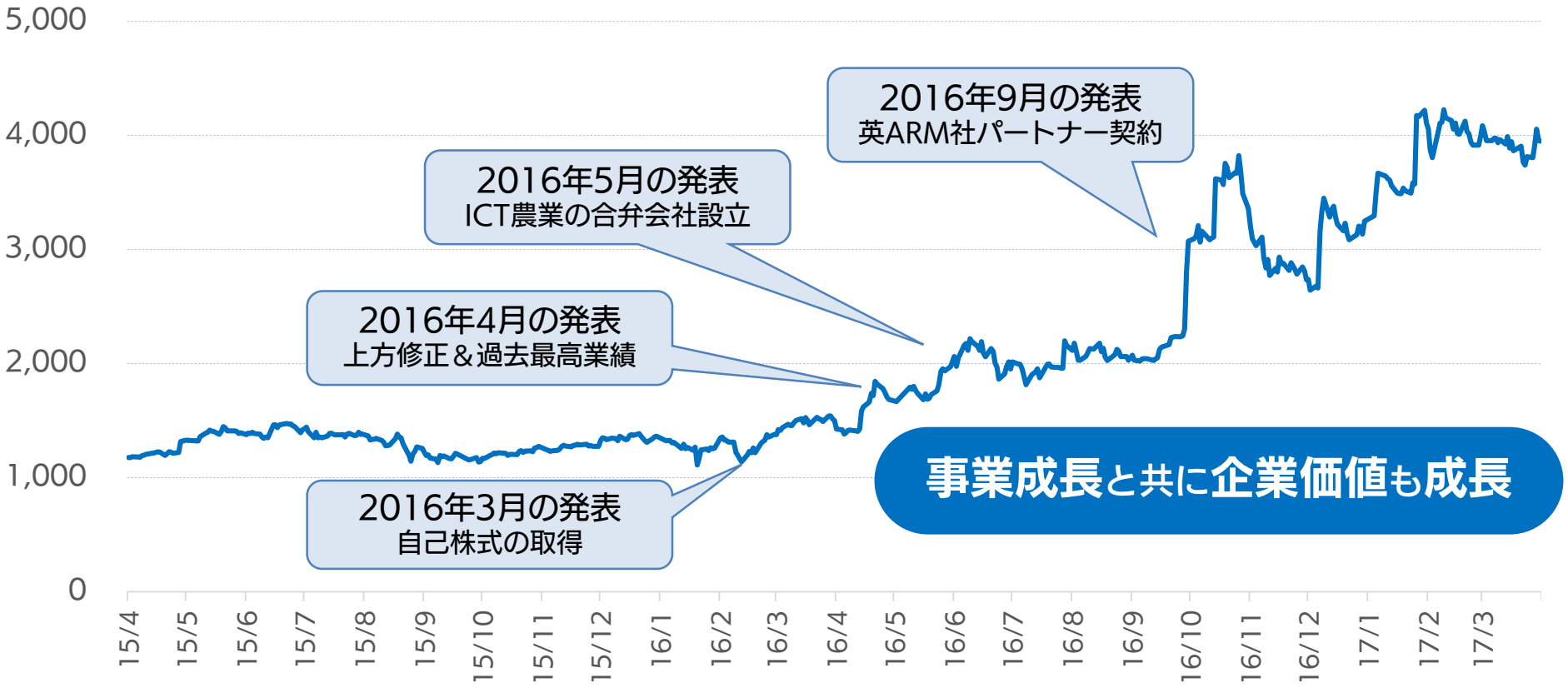
宮城県

新潟県

長崎県

株主還元策

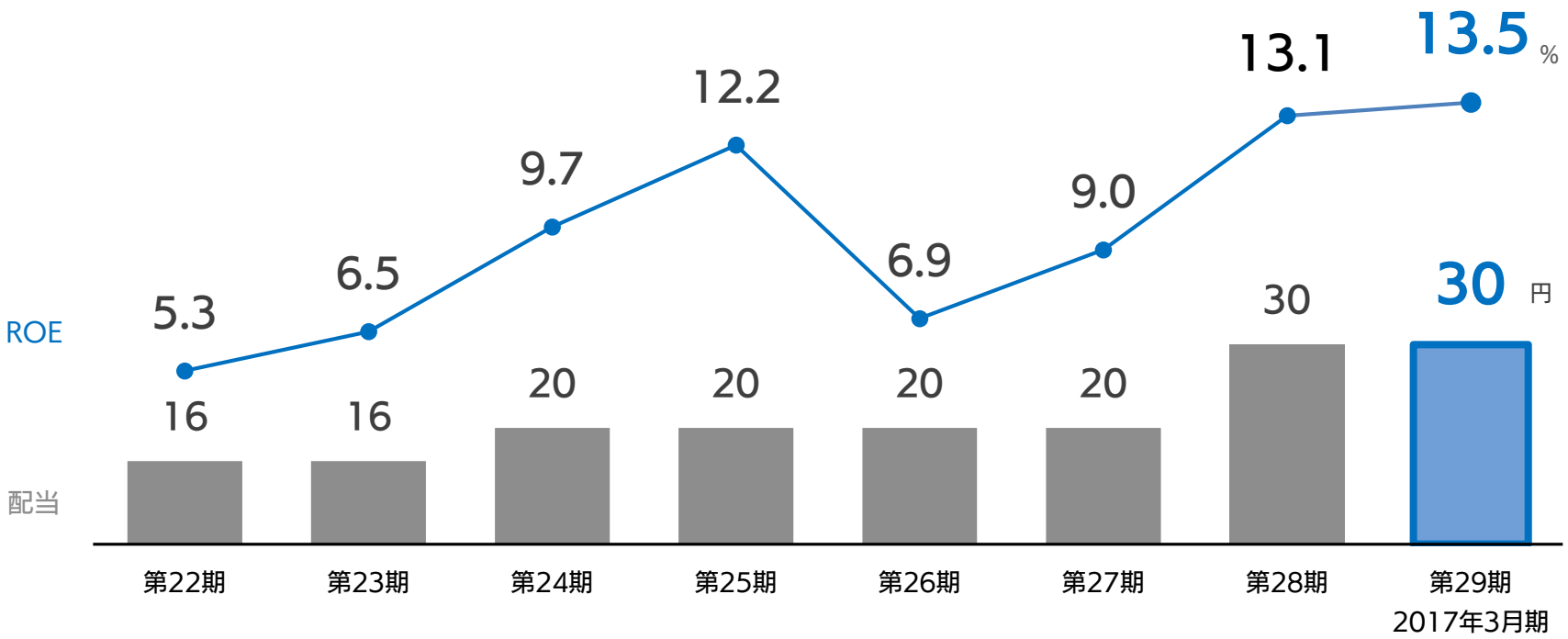
株価の推移と主な発表



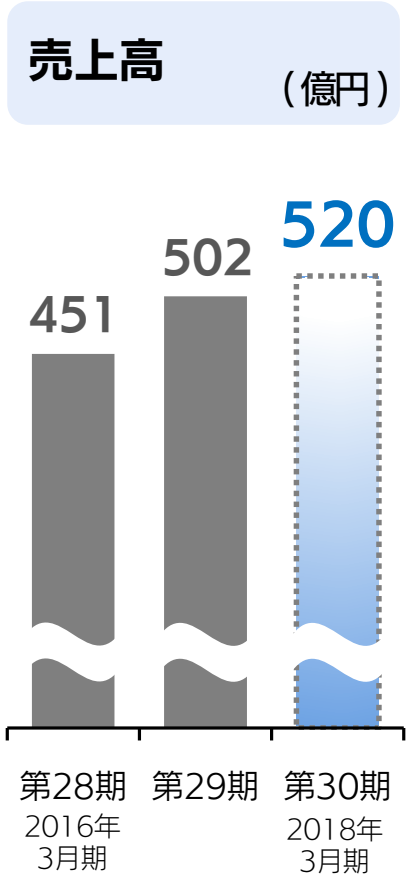
※2017年6月1日を効力発生日として、2対1の株式分割を実施。株式分割前の株価にて記載。

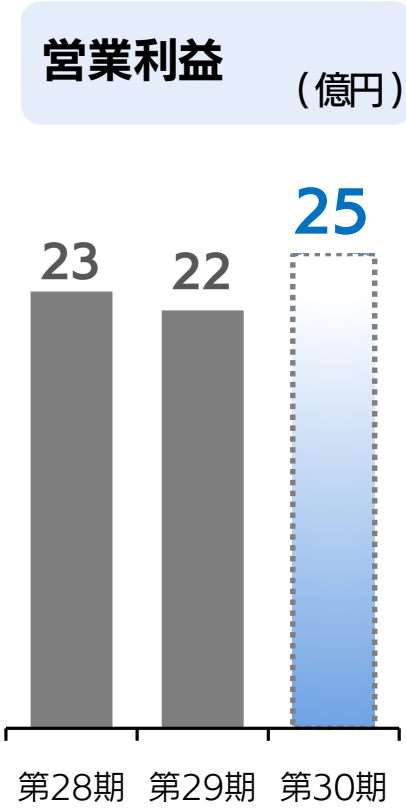
配当政策

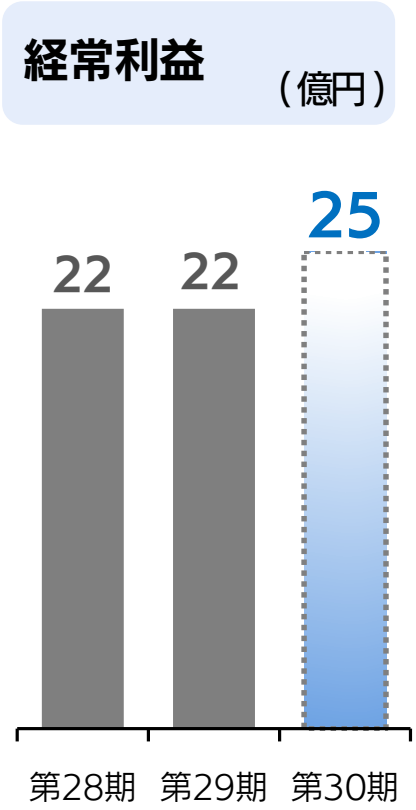
事業への投資を継続しつつ、安定配当の方針

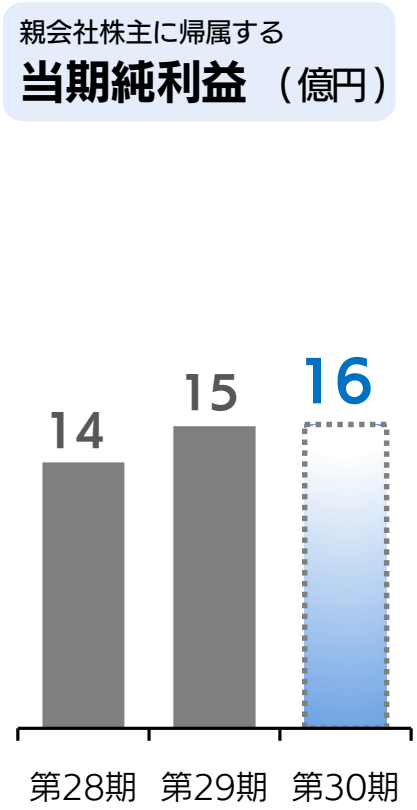


第30期（2018年３月期）通期業績予想









情報革命で人々を幸せに
～ 技術の力で、未来をつくる ～

ソフトバンク・テクノロジー グループ

SoftBank Technology　Fontworks　KAN　cybertrust　mode2　MIRACLE　ASORA